

「由来と意味」

岡山県 禅ぜん光こう寺じ 徒弟 飯田いいた 利行りぎょう

皆さんは、ご自身の名前の由来や意味を、ご存じでしょうか。私の名前は「利行」。ご利益の利に、修行の行と書きます。仏教でいう利益とは、仏さまの教えに従い生活することによって得られる幸せや恵みの事です。

さてこの「利行」という名前は、私の祖父が付けてくれました。どういう由来があるのかと言いますと、仏教の大切な教えである「利行」からきています。「利行」とは、困っている人を見たら報いなど求めず、ただひたすらその人の利益になるような、様々な行いを実践することです。時に私たちは、他の人の得を先にすれば、自分の得が減らされてしまうと思うことがあります。しかしお釈迦様が、「真の利行は、自分も、他をも利益するのである」と説かれているように、「利行」というのは自分の得も他の人の得も一つ、同じなのです。

また、よくギブアンドテイクという言葉を目にしますが、もらうことが目的で他の人に与えるのであれば、それは「利行」ではありません。では、「利行」の心をどう引き出せばいいのでしょうか。あまり難しく考えないでください。まず始めは小さなことからでよいと思います。たとえば、ゴミを拾ったり、玄関の靴を揃えたり、身の周りを見渡してみると、自分ができることはたくさんあります。

簡単なことでもいいのです。自分のした行いによって、それが他の人の喜びに繋がることが「利行」です。この「利行」が私の名前の由来です。祖父が付けてくれた名前に恥じないよう、これからも「利行」を実践していきたいと思えます。